

## ミシガンの学制について

日本の学制は小学校 6 年間、中学校 3 年間、高校 3 年間が一般的で、6-3-3 制とされています。アメリカは、州や地域によって異なりますが、一般的なのは小学校 5 年間、中学校 3 年間、高校 4 年間、の 5-3-4 制か、小学校 6 年間、中学校 2 年間、高校 4 年間の 6-2-4 制です。私が居住するイーストランシング市では、学年が終了した平成 24 年(2016 年)6 月に学制改訂があり、6-2-4 制から 5-3-4 制に変更になりました。昨年度の 5 年生、6 年生と一緒に中学校に進学したという格好です。そのためイーストランシング市の中学校では、生徒数の増加に対応するための建物の改修工事が行われていましたが、新学期開始の 9 月には間に合わず、校舎の改修工事は 11 月まで行っていました。ただ授業の進捗には影響はなかったようです。

我が家には、平成 26 年(2014 年)4 月に日本で小学校 6 年生に進級した子どもがいます。同年 7 月に渡米し、9 月にイーストランシング市の公立中学校に中学 1 年生(アメリカでは 6 年生[6th grade]と言います。)として入学しました。現地校に入りましたから、アメリカ人の先生が英語で授業を進めるので大変ではないかと思うのですが、最近は優れた翻訳アプリがあり、担任の先生も翻訳アプリを活用して、日本語を見せて指示を出して下さるので、授業が全く分からないということはないようです。それは本当にありがたいのですが、その分、英語で考える機会が減りますので、英語の習得は遅いのではないかと思います。

中学校への入学手続きは、いたって簡単でした。私の場合は、イーストランシング市の教育委員会事務局に行き、自分自身がイーストランシング市に住んでいることを証明し(運転免許証、アパート入居契約書、電気代請求書等で確認)、中学入学に必要なとされる予防接種の受診証明を提出して、入学手続きを済ませることができました。しかし、入学前に受けた予防接種には驚かされました。日本で受けた予防接種もあるのですが、改めて受けなければならないものもあり、1 回の受診で 6 本もの注射を受けたのです。子どもは右腕に 3 本、左腕に 3 本の注射を連続して受けました。注射を終えてすぐに、気分が悪くなったようで、みるみる顔が青ざめて、どうなることかと心配しましたが、幸い大事には至らず 15 分程度で回復して、ほっとしました。

イーストランシング市の公立学校には ESL クラス(English for Second Language:英語が母国語ではなく第 2 外国語である生徒のためのクラス)があります。イーストランシング市にはミシガン州立大学があって、ミシガン州立大学の研究機関で働く外国籍の研究員が同市に多く居住しており、子どもが地元の学校に通学するため、ESL クラスに対するニーズが高くなるためです。

ちなみに、イーストランシング市で ESL クラスを受け持って下さるのはマリー・ルー・タンブル先生という女性の先生です。中学校で保護者面談が開催されて行ってきました。

中学校内の教室や体育館といった場所でブースを設けていて、保護者はそれぞれ、その担当する先生のブースで順番を待ちます。タンブル先生は、受け持つ生徒をものすごく誉めてくれます。私の前にタンブル先生と面談をしている保護者がおられたのですが、タンブル先生は大きな声で、その保護者の子どもをすごく誉めていました。次に私の順番になったのですが、「うちの子は英語も全然できないので」というと、とにかく授業に向かう姿勢が素晴らしい、頑張っているというのです。これはタンブル先生の方針のようで、誰に対してもすごく誉めているようでした。うちの子を誉めるにしても、「授業に向かう姿勢ぐらいしかない」と思いますが、そこを身振り手振りを交えて誉めて下さいました。日本だったらここまで一人ひとりを誉めることはないだろうと思います。教育の違いはこういうところにもあるようです。